

地域おこし協力隊 ひらた通信

執筆・デザイン・編集：酒田市平田地域・地域おこし協力隊 霞本 祐一郎【田沢地区拠点】

内藤 小容子【東陽地区拠点】

黄金の稲穂の実りの季節

内藤です。黄金色の田んぼが次々と刈り取られ、景色の目まぐるしい変化が季節の移り変わりを実感させてくれる今日この頃です。

ところどころで見かける杭掛けでの天日干し。現在は機械乾燥が主流なので、量の少ないもち米などで行われているそうですね。手作業には手間がかかると思いますが、私はとても美しい風景だと感じます。

9月23日には、中野侯の兼業農家さんの稲刈り作業取材。実際にコンバインに乗せていただき、稲を起こして刈って脱穀して集めて、藁を粉碎して撒いて…と1台で何役もこなす農業機械に今回も驚きました。今年は長雨続きで稲の根張りが弱く、日照不足で丈が高いことから、倒伏が多いとのこと。ご苦労も多いことと思います。短時間にもかかわらず、品種や乾燥・選別のことまで教えていただきました。ご協力に感謝！いただいた新米のおいしさに感動！！



ひらたの生きもの歳時記（赤とんぼ編）



稲刈り後の水たまりに産卵するアキアカネ

「♪夕焼け小焼けの赤とんぼ♪」と歌われる身近な生きもの。実は体の色が赤っぽくなるとんぼの仲間の総称で、ナツアカネ、アキアカネ、ノシメトンボなどの種類がいます。その多くが田んぼで生まれ、夏は山で過ごし、繁殖のため再び里に戻ってきます。

農作業の方法や時期の変化によって数が激減しているといわれていますが、「赤とんぼ♪」の歌を歌いたくなる風景が残ってほしいですね。

柿渋づくり進行中

先月号でご紹介した柿渋プロジェクト。未利用資源の有効活用だけでなく、放置された柿の実を狙ってクマなどの野生動物が人里に降りてくるのを少しでも防ぐことにつながるのでは、と考えています。

昔から天然の塗料・染料として利用されてきた柿渋ですが、なんと新型コロナウイルスを不活性化するとの研究成果が出たそうです。今後ともご注目ください！

- 10月6日に田沢小学校児童による旧阿部家茅葺きの葺き替え見学を実施。詳細は来月号にて！
- ひらた文化祭「市民作品展」（10月31日～11月8日@ひらた生涯学習センター）にて、「地域の宝：ため池のSOS！」を出展します。あんな生きものや意外な高級食材が見られるかも！？子どもも大人も楽しめる仕掛けを考案中ですので、ぜひみなさんでお出かけください！

13年ぶりの旧阿部家～夏の会を開催



霞本です。8月下旬、旧阿部家にて、夏の会を開催しました。なんと13年ぶりだそうです。

今回は、旧平田町の町長であった加藤寛英氏による歴史講話と、坂本獅子踊りのDVD上映を行いました。知られていない旧阿部家のことや山元の歴史など、貴重な講話であり勉強になりました。ありがとうございました。とても評判が良く、また違った機会で開催していこうと思います。

坂本獅子踊りは、平田の芸能の一つで平和な暮らしを祈るため、毎年8月14日に行われていた行事です。現在、後継者不足により実施はしていませんが、この行事をキッカケに伝統を継承していけたらいいなと感じています。

大江町山里交流館 やまさあーべ が面白い件 ～視察研修～

先日、大江町にある山里交流館「やまさあーべ」の視察研修に行ってきました。

もともと、小学校であったところを宿泊型、自然・文化の体験施設として利活用しています。ムササビ観察や薪割りピザ体験などユニークな事を行っています。

やまさあーべ館長の佐々木さんにお話しを聞いた際、「“できない”とは言わない」というフレーズが印象に残りました。結果、現在のやまさあーべは、体験施設として多くの方が参加されており、賑わっている印象を受けました。この視察で得たノウハウを田沢の取り組みに活かしていきたいと思っています。



■かすみのひとりごと（編集後記に代えて）

先日の研修で行った山里交流館やまさあーべは、かなり山奥。ここには、元地域おこし協力隊2名がいました。任期後、両名とも定住しているそうです。冬になれば積雪2m越え、移動が大変だと笑いながら話してくれました。いや…笑いながら話すとは、すごいなあと（笑）

そういえば、この2年半の間、様々な協力隊の方とお話する機会がありましたが、みんな独特な人が多いなと、今さら気付きました。もしかして地域おこし協力隊は、そういう方が多い集まりなのかな。待てよ…僕も独特な人間なのか？そんなつもりはなかったのですが。なんて…冗談はさておき、真面目な僕たちは、地域活性化のために取り組んでいるので応援よろしくお願いします！

二次元コード読み込むと、酒田市地域おこし協力隊【平田地域拠点】Facebook ページが見られます！

